

## 第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月10日(金)  
児 童 男子9名 女子8名 計17名  
指導者 高橋 浩人

- 1 単元名 場面をくらべて読もう  
教材名 「一つの花」

### 2 子どもの実態

子どもたちはこれまでの「読むこと」の学習において、3年上「きつつきの商売」で場面を学習し、場面に沿って学習すること、3年下「ちいちゃんのかげおくり」では、場面の様子を想像しながら読み、感じたことを伝えあう学習を経験している。それを受けて4年上「三つのお願い」では、場面の情景や登場人物の気持ちを想像しながら読むことと好きな場面を選び聞き手に語りかけるつもりで声に出して読む学習をした。4年上「白いぼうし」では、会話や行動から登場人物の気持ちや人柄を考える学習をしてきた。

これらの学習をふまえて子どもたちは叙述に即して読むことに加えて、会話文で強弱や間の取り方に気をつけて読む工夫をすることができるようになってきている。教科以外にも朝読書や暗唱に取り組んだり、家庭音読でスキルを高めることにもめあてをもって取り組んだりしていることも読む力の大きな支えになっている。

### 3 単元について

本単元「場面をくらべて読む」では、キーワードに気をつける読み方を知り、場面意識を持って登場人物の様子や気持ちを読み取っていくことをねらいとしている。

教材文の題名にもなっている「一つの花」は父親の願いであり、「美」という精神的なものの象徴である。恐ろしい戦争の力をもってしても、親が子を思う心や美しいものを喜ぶ人間らしい心を奪うことはできなかった。戦争への憎しみや平和への願いとともに、家族の愛情と人間の真実の強さがこの作品の主題である。本単元は中学年の文学作品の学習のまとめの位置にある。高学年では、登場人物の心情や、描写などの優れた叙述に目を向ける学習をするが、その橋渡しの役割も持っている。

中学年になって、外界から吸収するものと外界へと発信するものは、低学年の頃に比べ格段に増えている。言語能力がもっとも向上する時期だと言われているこの時期に、物語を読み、その世界に没入し、その中で躍動する心の動きをさらに盛んにする意味でも最適の教材である。

### 4 指導にあたって

本単元では、戦争中と戦争後の様子が描かれている場面をくらべながら、ゆみ子を通してゆみ子の家族一人一人の気持ちを読み取り(レベル1)、自分の読みの深まりを確認して、ゆみ子への手紙を書く活動を行う(レベル2)。

第1次では、難語句や新出漢字の読み方を確認しながら「一つの花」を通読し、初発の感想を持たせ、感想を交流する。学習課題を設定する際にも児童一人一人の感想を大切にしたい。戦争時の生活の様子についても補足説明をして、物語により深く浸れるように掲示等を工夫する。

第2次では、場面ごとに学習課題に沿って読みを深めていく。この作品では直接的な心情表現よりも状況や行動を表す表現が多く用いられているので、状況や行動を表す描写を手がかりにして、書かれていない気持ちを読み手が想像することになる。ポイントとなる表現に目を向けるのに音読を多く用いて、学習課題に即して、両親の愛情の深さを想像しながら読み深める力を高めていきたい。1単位時間の「まとめる」の段階では書く活動を取り入れ、自分の考えを振り返る活動を組み込みたい。また、この物語では対比による表現も使われて

いるのでそこにも目を向けさせたい。

第3次では、第2次の学習をもとにゆみ子への手紙を書くことを通して、「一つの花」で読み深めたこと、強く心に残っていることをまとめる。その感想を交流することにより読みをさらに深める契機にしたい。

## 5 学習指導目標

### (1) 関心・意欲・態度

○ゆみ子の家族の人たちの気持ちを行動と場面の状況に結びつけながら読もうとし、ゆみ子への手紙を書こうとする。

### (2) 能力

◎登場人物の様子と場面の様子を文章を繰り返し読むことで作品の大事な言葉に気がつけて想像しながら読むことができる。 【読むこと ウ】

◎題名にこめられた作者の思いについて自分なりの考えを持ち、友達の考えとくらべるることができる。 【読むこと エ】

### (3) 言葉についての知識・理解・技能

◎文章を繰り返し読むことで、場面の情景描写や登場人物の心理描写の素晴らしさに気づくことができる。 【言語事項 ウ(エ)】

○文末表現・指示語・接続語・ダッシュなどの働きについて理解を深めることができる。

【言語事項 エ(ア)】

## 6 学習指導計画(単元重点指導計画)

(10時間)

過程	時	指導目標 ・主な学習活動 ※音読活動	評 価 規 準		
			関心・意欲・態度	中心となる能力	言語事項
第1次 レベル 1	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全文を読み感想をもち、学習の見通しをもたせる。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名からどんな話か想像する。</li> <li>・難語句や新出漢字の読み方を確認しながら「一つの花」を通読する。</li> <li>・感想を書き、交流することによって学習の見通しをもつ。               <ul style="list-style-type: none"> <li>① ゆみ子について</li> <li>② 両親の愛情について</li> </ul> </li> </ul> ※範読、役割読み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のめあてが分かり単元全体の見通しをもっている。(観察・発言)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読を聞き正しく音読している。(観察)</li> <li>・初発の感想を書いている。(ノート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句調べを的確にしている。(ノート)</li> </ul>
	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景描写や人物描写に気をつけ感想を持って読もうとしている。(観察・発言)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景描写や人物描写に気をつけ、言葉を手がかりして読みとっている。(発言・ノート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示語の指示内容を的確にとらえている。(観察・発言)</li> </ul>
第2次 レベル 1	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「1つだけちょうだい。」というゆみ子を取り巻く状況を読み取らせる。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読みの見通しを持つ。</li> <li>・知らず知らずに覚えてしまったわけを読み取る。</li> <li>・ゆみ子がいつもおなかをすかせているわけを読み取る。</li> <li>・「一つだけ——」という時のお母さんの気持ちを考える。</li> </ul> ※一斉読み、唇読み、役割読み指名読み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景描写や人物描写に気をつけ感想を持って読もうとしている。(観察・発言)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景描写や人物描写に気をつけ、言葉を手がかりして読みとっている。(発言・ノート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示語の指示内容を的確にとらえている。(観察・発言)</li> </ul>
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ゆみ子をめちゃくちゃに高い</div>				

	(本時)	<p>高いする父親の行動と心情を読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読みの見通しを持つ。</li> <li>・ゆみ子に対する母親の気持ちを読み取る。</li> <li>・ゆみ子に対する父親の気持ちを読み取る。</li> </ul> <p>※一斉読み、唇読み、自由読み 役割読み</p>			
	6	<p>戦争に行く日の情景から父母の気持ちを読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読みの見通しを持つ。</li> <li>・お母さんの行動の意味を読み取る。</li> <li>・家族だけでそっとお別れをしたいと願っているお父さんの気持ちを読み取る。</li> </ul> <p>※一斉読み、役割読み、唇読み 指名読み</p>			
	7	<p>父親が、ゆみ子に渡した一輪のコスモスの花に託した思いを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読みの見通しを持つ。</li> <li>・一つの花を見つめるお父さんの気持ちを考える。</li> <li>・にっこりと笑ったお父さんの気持ちを考える。</li> </ul> <p>※一斉読み、役割読み、唇読み 指名読み</p>			
	8	<p>十年後のゆみ子とお母さんのささやかで平和な生き方からお母さんの気持ちを読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読みの見通しを持つ。</li> <li>・戦争中と戦争後の違いを読み取る。</li> </ul> <p>※一斉読、指名読み</p>			
第3次レベル3	9・10	<p>学習したことをもとにゆみ子への手紙を書き、友達の手紙を読むことにより、考えを深めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の見通しを持つ。</li> <li>・ゆみ子への手紙を書く。</li> <li>・手紙を読み合い、感想カードを書く。</li> </ul>	<p>学習した内容をもとに、ゆみ子への手紙を書くとともに、友達の感想と比べている。 (手紙・カード)</p>	<p>読み深めた内容を手紙の形としてまとめて書くことができる。 (手紙)</p>	<p>手紙のきまり(書き方)を理解することができる。 (手紙)</p>

## 7 本時の指導

### (1)目標

(関心・意欲・態度)

○ゆみ子をめちゃくちゃに高い高いするお父さんの気持ちを読み取ろうとする。

(能力)

◎ お父さんの行動や言葉から悲しさ・やりきれなさを読み取ることができる。

(言語に関する知識・理解・技能)

○ダッシュの意味・用法を理解することができる。

### (2)指導にあたって

本時は、ゆみ子をめちゃくちゃに高い高いするお父さんの気持ちを読み取らせたい（レベル1）。かわいそうという思いのほかに、ゆみ子の将来を案ずる気持ち、戦争という大きな圧力のために我が子に思うようなことをしてあげることができないやりきれない気持ちという親の優しさまで読み取らせたい。気持ちが直接表現されていないので、言動から想像していかなければならないので、段階を追ってめあてにせまりたい。

そのために、まずお母さんの会話文からゆみ子に対する思いを読み取る。

次に、お父さんのゆみ子に対する思いがお母さんと似てるかどうかを会話文から考える。ここではお父さんの気持ちが分かるところにサイドラインを引き書き込みをさせ、自分の考えをはっきりさせておきたい。その後、各自の考え出し合うことにより将来への不安、やりきれなさを引き出していききたい。その際に「深いため息」「めちゃくちゃに」という表現に注目をさせる。

まとめでは、お父さん・お母さん・地の文に分けて役割読みをする中で、自分の考えをより確かなものにしていきたい。

この学習を通して、登場人物の言動から気持ちを考えていく力をつけたい。

### (3)本時における音読活動のねらい

つかむ	一斉読み	→	学習場面のおおまかな内容をつかませる。
考える	役割読み	→	母親の話したことから気持ちを考えるさせる。
			父親の話したことから気持ちを考えるさせる。
深める	指名読み	→	母親の話したことから気持ちを確かめさせる。
			父親の話したことから気持ちを確かめさせる。
深める	自由読み	→	「深いため息」の箇所につかせる。
まとめる	役割読み	→	両親の気持ちを確かめるさせる。

### (5)展開

段階	学 習 活 動 ○発問 ・期待される児童の反応 ※音読	・支援と●評価 【評価方法】
つかむ 3分	1 前時の想起 ゆみ子を取り巻く状況について確かめる。 2 課題把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どうしてお父さんはゆみ子をめちゃくちゃに高い高いをするのだろうか。</div> ※一斉読み	・ 教室内の掲示を使う。
考える	3 課題解決 (1)答えを予想する。 ・かわいそうだから (2)読みの視点を確かめる。 ※一斉読み (3)お父さんのゆみ子に対する気持ちを読み取る。	・ 会話文がポイントになることをおさえる。 ・ サイドラインを引いて、書き込みをさせ自分の考えをはっきりさせる。

<p>考える</p> <p>20分</p>	<p>○お父さんの気持ちはお母さんの気持ちと似ていますか。 （サイドライン部分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両手を出すことを知らずにすごすかもしれないね。</li> <li>・喜びなんて、一つだってもらえないかも知れないんだね。</li> <li>・大きくなったらどんな子に育つだろう。</li> </ul> <p>※役割読み、指名読み</p> <p>○お父さんはゆみ子の将来をどう思っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不安</li> <li>・心配</li> </ul> <p>○お父さんが本当にしてあげたいことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つだけではなくゆみ子に与えたい。</li> <li>・たくさんのをあげたい。</li> </ul> <p>○それができないお父さんはどんな気持ちか考ましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不満</li> <li>・やりきれない</li> <li>・自分が情けない</li> </ul>	<p>●お父さんの気持ちを表している語句を見つけることができる。</p> <p>↓ 【発言】【ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんのゆみ子に対する思いを確かめる</li> <li>・会話文に注目させる。</li> </ul> <p>・考えになった文や語句をしっかりとおさえる。</p> <p>・</p>
<p>深める</p> <p>10分</p>	<p>(4)お父さんがゆみ子をめちやくちやに高い高いをするわけを考える。</p> <p>○お父さんはどうしてゆみ子をめちやくちやに高い高いするのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわいそう</li> <li>・将来が心配</li> <li>・自分の無力さへの嘆き</li> </ul> <p>※自由読み</p>	<p>●お父さんのゆみ子に対する気持ちを考えることができる。</p> <p>↓ 【発言】【音読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆみ子の将来をどう思っているかを黒板で確かめる。</li> </ul>
<p>まとめる</p> <p>12分</p>	<p>4 学習のまとめ</p> <p>(1)まとめの音読をする。 ※役割読み</p> <p>(2)課題へのまとめを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>具体の評価規準【ノート・発言】</p> <p>A ゆみ子の将来を案じる気持ちと我が子に満足なことであげることができないやりきれなさを読み取っている。</p> <p>B 精一杯してあげることが、高い高いしかない父親の気持ちを読み取っている。</p> <p>C への支援 お父さんの会話文に立ち返り、黒板を見てお父さんの気持ちを確かめる。</p> </div> <p>5 本時を振り返る</p> <p>6 次時の学習予定を知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話文と地の文の読み分けを意識させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の課題に本時のまとめを絡めるよう意欲喚起する。</li> </ul>

(5) 板書計画

まとめ	お父さん やりきれない 不安 ゆみ子の将来が心配	P 7 さし絵 拡大コピー	お母さん かわいそう	課題 どうしてお父さんはゆみ子をめちやくちやに高い高いするのだろうか。	一つの花 今西祐行
-----	-----------------------------------	------------------	---------------	--	--------------